

環境経営レポート

2024年度

(対象期間:2023年7月～2024年6月)



発行日:2025年 3月26日

株式会社 西海興業

目 次

1. 組織の概要		p.2
2. 認証・登録の対象範囲		p.2
3. 環境経営方針		p.3
4. 実施体制		p.4
5. 環境経営目標		p.5
6. 環境経営計画		p.6
7. 環境経営目標の実績		p.7
8. 環境経営計画の取組結果と その評価、次年度の取組内容		p.8
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無		p.9
10. 代表者による全体評価と見直しの結果		p.9

1. 組織の概要

- 1) 事業所名 株式会社 西海興業
代表者氏名 代表取締役 西山 潤一郎
- 2) 所在地 本 社 〒852-8116 長崎県長崎市平和町5番19号
西海支店 〒851-3305 長崎県西海市西彼町喰場郷1266番地1
五島支店 〒853-0063 長崎県五島市江川町4番地19
島原支店 〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7240番地9
- 3) 環境管理責任者 工事部長 井手 信也
営業部長 坂瀬 昭敏
担当者 営業部 石本 晃生
連絡先 TEL 095-846-1157 FAX 095-849-5967
Eメールアドレス ishimoto_saikai@outlook.jp
- 4) 事業の内容 【特定建設業】長崎県知事許可(特-2)第3683号
- | | |
|------------------|----------|
| ◇土木工事業 | ◇建築工事業 |
| ◇大工工事業 | ◇左官工事業 |
| ◇とび・土工工事業 | ◇石工事業 |
| ◇屋根工事業 | ◇鋼構造物工事業 |
| ◇タイル・れんが・ブロック工事業 | ◇舗装工事業 |
| ◇鉄筋工事業 | ◇板金工事業 |
| ◇しゅんせつ工事業 | ◇塗装工事業 |
| ◇ガラス工事業 | ◇内装仕上工事業 |
| ◇防水工事業 | ◇建具工事業 |
| ◇熱絶縁工事業 | ◇解体工事業 |
| ◇水道施設工事業 | |
- 5) 事業の規模 資本金 3000万円
設立 昭和53年1月20日

(事業年度 7月～翌年6月)

	単位	2023年7月～ 2024年6月
売上高	百万円	1717
従業員数	人	43

2. 認証・登録の対象範囲

当社は、全事業・全組織を登録範囲としています。

環境経営方針

1 基本理念

株式会社 西海興業は建設業としての事業活動が、地球及び地域の環境に関りが強いことを認識し、循環型社会形成の実現に貢献をいたします。

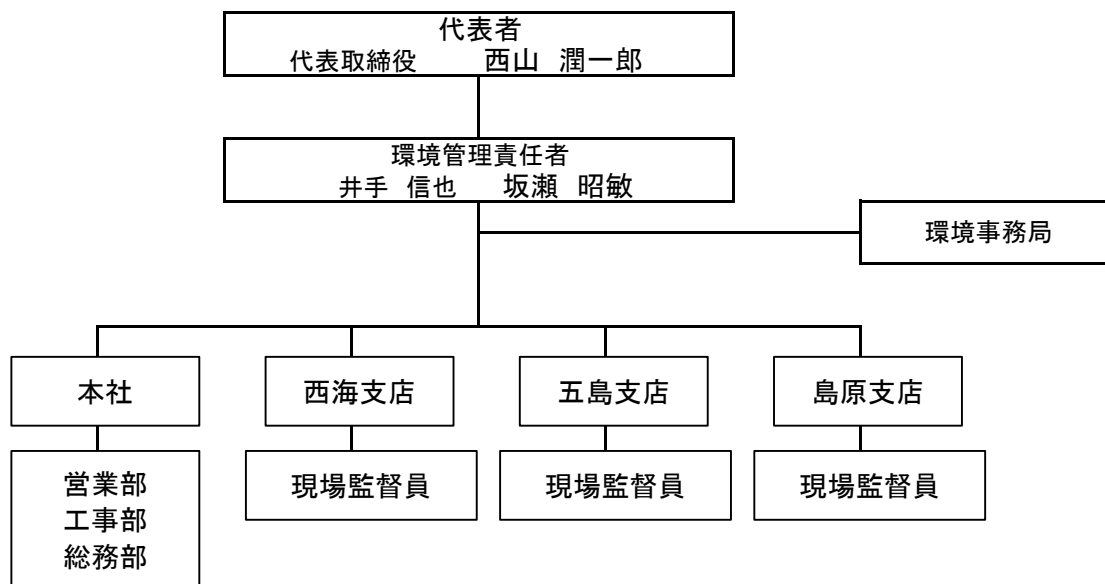
2 基本方針

次の事項について活動計画を定め、従業員への周知を徹底し、継続的な改善に努めます。

- 1 二酸化炭素の排出量の削減
 - ・ 電力消費量の削減
 - ・ 自動車等の燃料消費量の削減
- 2 水資源使用量の削減
 - ・ 水道水の節水
- 3 グリーン購入の促進
- 4 社会貢献
 - ・ 地域ボランティア活動の推進
- 5 建設活動から排出される『廃棄物の適正管理』『リサイクル活動の推進』
- 6 土木建築物等の環境性能の向上及びサービスの改善
- 7 関連する環境法規制、地域・近隣との協定、業界団体の方針の遵守
- 8 建設活動における汚染を予防し、自然を守る『生態系保全活動の推進』
- 9 環境への取り組みを環境経営レポートとして取りまとめ、
当社HPや一般への閲覧を可能にし公表します。

制定日 令和3年10月1日
株式会社 西海興業
代表取締役 西山潤一郎

4. 実施体制



	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理、遵守チェック ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの実施

環境経営目標

環境目標は以下のとおりです。

目標・活動項目(単位)	場所	2023年度 基準値	2024年度 目標値	2025年度 目標値	2026年度 目標値
1.二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	事務所 (現場含む)	61,807	61,189	60,571	59,953
①電気使用量の削減 (総電気使用) (Kwh)1%削減	事務所 (現場含む)	63,997	63,357	62,717	62,077
②ガソリン使用量の削減 (L)1%削減	事務所 (現場含む)	11,339	11,226	11,112	10,999
②軽油使用量の削減 (L)1%削減	事務所 (現場含む)	4,111	4,070	4,029	3,988
2. 産業廃棄物の削減 (リサイクル推進)	事務所 (現場含む)	リサイクル推進	リサイクル推進	リサイクル推進	リサイクル推進
3. 一般般廃棄物の削減 (t)1%削減	事務所 (現場含む)	93	92	91	90
4. 水道使用量の削減 (年間水資源総使用量) (m ³)1%削減	事務所 (現場含む)	121	120	119	117
5. グリーン購入の促進	事務所 (現場含む)	グリーン購入の周知徹底			
6. 自ら施工する サービスの改善	事務所 (現場含む)	施工技術・工作物等の環境性能の改善に取り組む			
7. 環境保全活動の実施					
地域清掃	事務所 (現場含む)	4回	4回	4回	4回

購入電力の二酸化炭素排出係数は、R3年度電気事業者排出係数(九州電力) 0.389kg-CO₂/kwhとして算出しました。

環境活動計画

事業所及び建設現場の事業活動における環境への負荷を低減するために、以下の活動に取り組めます。

環境活動計画の内容			実施者	責任者
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	エアコンの控えめな設定温度（夏28℃、冬20℃）	全員	営業部長
		未使用・昼休み時の電気消灯の徹底	全員	
		パソコン等機器は使用しないときは電源切。	全員	
	ガソリン使用量の削減	アイドリングストップの徹底	全員	営業部長
		法定速度の厳守・エコドライブ運動の徹底	全員	
	廃棄物の削減		工事部	工事部長
		再使用、リサイクルの推進	工事部	
一般廃棄物の削減	廃棄物の分別徹底		全員	営業部長
	再使用、リサイクルの推進		全員	
	コピー用紙は裏紙を使用する。		全員	
水使用量の削減		節水活動の推進	全員	営業部長
グリーン購入の促進		資材等のグリーン購入	全員	工事部長
自ら施工するサービスの改善		低騒音型・排出ガス対策型の重機を使用する 景観への配慮、周辺環境への配慮 グリーン購入の推進	工事部	工事部長
地域貢献活動の実施		全従業員による地域清掃活動の実施	全員	営業部長

環境目標の実績評価

環境目標の実績は以下のとおりでした。

目標・活動項目(単位)	2023度基準値 (2022.7～2023.6)	2024年度(2023年7月～2024年6月)			
		目標値 (2023.7～2024.6)	実績 (2023.7～2024.6)	実施率	評価
1.二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	61,807	61,189	115,338	53%	×
①電気使用量の削減 (総電気使用) (Kwh)1%削減	63,997	63,357	56,900	111%	○
②ガソリン使用量の削減 (L)1%削減	11,339	11,226	31,298	36%	×
②軽油使用量の削減 (L)1%削減	4,111	4,070	7,981	51%	×
2. 最終処分量の削減 (産業廃棄物)(t)	リサイクル推進	リサイクル推進	リサイクル推進	-	良
3. 一般般廃棄物の削減 (t)1%削減	93	92	91	101%	○
4. 水資源使用量の削減 (年間水資源総使用量) (m ³)1%削減	121	120	134	89%	△
5. グリーン購入の促進	グリーン購入の周知徹底			-	良
6. 自ら施工する サービスの改善	施工技術・工作物等の環境性能の改善に取り組む			-	良
7. 環境保全活動の実施					
地域清掃	4回	4回	4回	100%	○

購入電力の二酸化炭素排出係数は、R5年度電気事業者排出係数(九州電力) 0.389kg-CO₂/kwhとして算出しました。

評価: ○:90%以上 △:70%以上90%未満 ×:70%未満

・二酸化炭素排出量の削減・・・業務の都合上、ガソリン・軽油の使用量が多かった。
電気使用量は目標達成できたため、今後も実施率を継続していきたい。

・一般般廃棄物の削減・・・実施率100%を達成できた。今後も継続していきたい。
・水資源使用量の削減・・・業務の都合上、使用量が多くなり目標達成できなかった。
節水について社内呼びかける。実施率を100%にしていきたい。
・グリーン購入の促進・・・再生資材の購入に取り組んだ。
・自ら施工するサービスの改善・・・低騒音型・排出ガス対策型重機の使用に努めた。
景観・周辺環境の配慮に努めながら取り組むことができた。
・環境保全活動の実施・・・本店、支店周辺共に清掃に努めることができた。

8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

二酸化炭素排出量の削減

活動項目		取組結果とその評価(次年度の取組内容含む)
電気使用量削減	エアコンの控えめな設定温度（夏28℃、冬20℃）	- 電気使用量のみ目標は達成できた。100%未満の項目については100%を超えるように取り組んでいきたい。 - ガソリン・軽油使用量については、使用量削減に取り組み目標達成に努める。 - 今後も継続して取り組んでいく。
	未使用・昼休み時の電気消灯の徹底	
	機器類は使用しないときは電源切。	
ガソリン・軽油使用量削減	アイドリングストップの徹底	
	法定速度の厳守・エコドライブ運動の徹底	

廃棄物排出量削減

活動項目		取組結果とその評価(次年度の取組内容含む)
一般廃棄物	廃棄物の分別徹底	- 目標は達成できた。 - 一般廃棄物については、コピー用紙の使用量、裏紙への再利用について更に取り組んでいく。 - 今後も継続して取り組んでいく。
	再使用、リサイクルの推進	
	コピー用紙は裏紙を使用する。	
産業廃棄物	廃棄物の分別徹底	
	再使用、リサイクルの推進	

水使用量削減

活動項目	取組結果とその評価(次年度の取組内容含む)
節水活動の推進	- 目標を達成することが出来なかった。 - 節水について社内で呼びかける。 - 今後も水の出しすぎに注意し、これからも節水を継続していく。

グリーン購入の促進

活動項目	取組結果とその評価(次年度の取組内容含む)
製品の必要性を考慮して購入する	グリーン購入の認定品の種類が豊富になってきているので、今後もグリーン購入品を活用していきたい。

自ら施工するサービスの改善

活動項目	取組結果とその評価(次年度の取組内容含む)
低騒音型・排出ガス対策型の重機を使用する 景観への配慮、周辺環境への配慮 グリーン購入の推進	- 全体として環境配慮に取組み、目標を達成できた。 - 今後も継続して取り組んでいきたい。

環境保全活動の実施

活動項目	取組結果とその評価(次年度の取組内容含む)
全従業員による地域清掃活動の実施	- 本社周辺の定期清掃は以前から実施している。 - 今後も、全社で活動に取り組んでいく。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有

法令名称	遵守事項	取組み
廃棄物処理法	適切な廃棄物処理	○
建設リサイクル法	特定建設資材の再資源化・再利用	○
水質汚濁防止法	公共用水域及び地下水の水質の汚濁防止	○
大気汚染防止法	解体等工事に伴う粉塵・石綿飛散防止	○
騒音規制法	特定施設の事前届出、変更届を市町村長に届出	○
振動規制法	特定施設の事前届出、変更届を市町村長に届出	○
労働安全衛生法	工事現場における労働災害の防止	○
建設業法	建設工事の請負契約の適正化、適切な施工の確保	○
環境基本法	公害防止、廃棄物のリサイクル	○
土壌汚染対策法	指定地域内での土地の改変	○
フロン排出抑制法	フロンの適正管理、漏洩の点検記録	○

- ・ 遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
- ・ 関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

2024年度において、目標達成できない項目があった。主な要因としては、受注業務の増加かつ従業員増員のため、使用量が増加したと思われる。

目標実績の実施率についても、100%未満の項目については100%を超えるように今後も取り組んでいきたい。

現段階では変更・指示等は必要ないと考えております。

今後も継続して目標を達成できるように取り組んでいきたい。

2025年3月25日
株式会社 西海興業
代表取締役 西山 潤一郎